

一般質問

自由民主党・仙台

やしろ 美香 議員

問 ハラスメントや性暴力被害者救済策として相談窓口を集約し、24時間対応にすべきと考えるが所見を伺う。

答 必要な支援体制を検討し、弱い立場にある方への暴力を許さない社会を目指したい。○本市のいじめ防止基本方針

問 情報技術を活用した人材育成高齡化社会におけるスポーツ施設の今後のあり方

答 より早い復旧復興のためにも指定都市の市長を災害救助法の救助主体とすべき。○震災の経緯を踏まえ、国に法改正を強く求めたい。○本市に全天候型野球場を

問 夜空に浮かび上がる仙台城を演出し新たな観光名所に

答 本格的な音楽ホール建設を○市職員は積極的に市民・各種団体との情報交換を図れ

問 災害時にはガソリン等の燃料確保が不可欠だ。インフラとしてのガソリンスタンドの維持も含め、所見を伺う。

答 市民生活にとって重要な問題であり、地域防災計画の中で検討を深めていく。○慶長遣欧使節の偉業を契機としてスペインとの国際交流

問 迷惑な客引き防止条例の制定

答 自転車安全走行への取り組み

問 市民フォーラム仙台

答 仙台版まちづくり特区の実施予定と市長が描く地域力向上の取り組みを伺う。

問 地域団体を支援するモデル事業に向け、26年度以降実態把握に着手し、課題解決

問 ための仕組みづくりを進め、地域の活性化を図ってほしい。

答 ○町内会加入促進の取り組み

問 地域の活性化を促す条例を

答 ○災害時要援護者支援の充実

問 本市居住の障害児の教育に市は責任を持つべき。特別支援学校に対する認識を伺う。

答 支援学校は重要であり、特別支援教育内容の充実を図る。

問 空き教室など活用可能な学校施設の有効活用を。

答 全市的な検討を進める。

問 就学前の適応訓練を導入し

答 発達障害療育事業の拡充を

問 文学館や水道記念館の活用

答 災害時における政令市への権限移譲がなされるまで、仮設住宅設置等の事務委任の協定等を県と締結すべき。

問 県と本市の認識や考え方について、協議をしっかりと行うことが肝要であり、相互の合意形成に努めていく。

問 市教員採用試験は本市独自で

答 ○仙台塩釜港の管理方針確立

問 政宗公江戸屋敷跡に記念碑を

問 復興の方向性を伺う。

答 集落営農の推進や地域特性に応じた農業を支援する。

問 スポーツツーリズムの推進

答 とスポーツイベントの誘致

問 介護予防給付の保険制度からの切り離しの問題と対策

答 特養や特定施設の整備促進

問 NPO法人等の不正受給防止

答 ○図書館の整備・運営に利用者ニーズを反映すべき

問 仙台駅東地区の区画整理事業完了を目前に控えた今後のまちづくりについて

答 ○仙台駅東地区の無電柱化

問 仙台駅東口駅前広場のバス停集約化に新高速乗合バスを加え周辺道路の安全確保を

答 ○都市計画道路元寺小路福室線の整備促進と渋滞解消

問 津波被災校の児童のスクールバス運行をプール教室等の学校開放にも拡大すべき。

答 長期休業中の常時運行は困難だが全般的な行事にはは困難だが柔軟に対応したい。

問 退去に伴う仮設住宅の空き室利用と今後の集約時期および備え付け家電の有効活用

答 被災した児童の心のケアを

問 公共施設のバリアフリー促進

答 市立病院の分べん料は、今後、国が出産育児一時金を増額した場合でも据え置くべきと考えるが、いかがか。

問 改定は独自に算定した金額であり、一時金増額によるさらなる改定は考えていない。

問 成人の風しん予防接種のさらなる周知と助成制度の継続

答 ○復興公営住宅整備に併せ茂庭台地区の交通環境整備を

問 路面表示が消えつつある横断歩道等は市が修繕すべき。

答 設置主体である県警に強く申し入れを行いたい。

問 宮城野通の自転車道は一方通行に改善を。

答 地元町内会や県警等とともに今後検討していきたい。

問 落ち葉対策用ますの設置を

答 ○雨水浸透ますのPR強化

問 宮町通等の自転車レーン整備

問 仙台駅東地区の区画整理事業完了を目前に控えた今後のまちづくりについて

答 ○仙台駅東地区の無電柱化

問 仙台駅東口駅前広場のバス停集約化に新高速乗合バスを加え周辺道路の安全確保を

答 ○都市計画道路元寺小路福室線の整備促進と渋滞解消

問 津波被災校の児童のスクールバス運行をプール教室等の学校開放にも拡大すべき。

答 長期休業中の常時運行は困難だが全般的な行事にはは困難だが柔軟に対応したい。

問 退去に伴う仮設住宅の空き室利用と今後の集約時期および備え付け家電の有効活用

答 被災した児童の心のケアを

問 公共施設のバリアフリー促進

答 市立病院の分べん料は、今後、国が出産育児一時金を増額した場合でも据え置くべきと考えるが、いかがか。

問 改定は独自に算定した金額であり、一時金増額によるさらなる改定は考えていない。

問 成人の風しん予防接種のさらなる周知と助成制度の継続

答 ○復興公営住宅整備に併せ茂庭台地区の交通環境整備を

問 路面表示が消えつつある横断歩道等は市が修繕すべき。

答 設置主体である県警に強く申し入れを行いたい。

問 宮城野通の自転車道は一方通行に改善を。

答 地元町内会や県警等とともに今後検討していきたい。

問 落ち葉対策用ますの設置を

答 ○雨水浸透ますのPR強化

問 宮町通等の自転車レーン整備

問 仙台駅東地区の区画整理事業完了を目前に控えた今後のまちづくりについて

答 ○仙台駅東地区の無電柱化

問 仙台駅東口駅前広場のバス停集約化に新高速乗合バスを加え周辺道路の安全確保を

答 ○都市計画道路元寺小路福室線の整備促進と渋滞解消

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

問 認知症に関する保健介護・医療分野の情報共有

答 ○認知症疾患医療センター等の診療環境の整備と県との連携強化

問 各区への認知症地域支援推進員の配置と専門的な取り組み名称等を工夫し、親しみやすい地域包括支援センターへ

答 ○道路交通法が改正され、自乗車事故は増加傾向にある。自乗車の安全利用やマナー向上のための条例制定が必要ではないか。

問 課題や他都市の条例等を踏まえ外部の意見を聞きながら方策を検討していきたい。

答 ○強引な客引き行為の禁止条例を増加する振り込み詐欺等に

問 対する高齢者防犯対策

答 ○落ち葉対策として、市民参加の一斉清掃活動を「杜の都ありがとつキャンぺーン」

問 認知症に関する保健介護・医療分野の情報共有

答 ○認知症疾患医療センター等の診療環境の整備と県との連携強化

問 各区への認知症地域支援推進員の配置と専門的な取り組み名称等を工夫し、親しみやすい地域包括支援センターへ

答 ○道路交通法が改正され、自乗車事故は増加傾向にある。自乗車の安全利用やマナー向上のための条例制定が必要ではないか。

問 課題や他都市の条例等を踏まえ外部の意見を聞きながら方策を検討していきたい。

答 ○強引な客引き行為の禁止条例を増加する振り込み詐欺等に

問 対する高齢者防犯対策

答 ○落ち葉対策として、市民参加の一斉清掃活動を「杜の都ありがとつキャンぺーン」

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

問 認知症に関する保健介護・医療分野の情報共有

答 ○認知症疾患医療センター等の診療環境の整備と県との連携強化

問 各区への認知症地域支援推進員の配置と専門的な取り組み名称等を工夫し、親しみやすい地域包括支援センターへ

答 ○道路交通法が改正され、自乗車事故は増加傾向にある。自乗車の安全利用やマナー向上のための条例制定が必要ではないか。

問 課題や他都市の条例等を踏まえ外部の意見を聞きながら方策を検討していきたい。

答 ○強引な客引き行為の禁止条例を増加する振り込み詐欺等に

問 対する高齢者防犯対策

答 ○落ち葉対策として、市民参加の一斉清掃活動を「杜の都ありがとつキャンぺーン」

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

問 認知症に関する保健介護・医療分野の情報共有

答 ○認知症疾患医療センター等の診療環境の整備と県との連携強化

問 各区への認知症地域支援推進員の配置と専門的な取り組み名称等を工夫し、親しみやすい地域包括支援センターへ

答 ○道路交通法が改正され、自乗車事故は増加傾向にある。自乗車の安全利用やマナー向上のための条例制定が必要ではないか。

問 課題や他都市の条例等を踏まえ外部の意見を聞きながら方策を検討していきたい。

答 ○強引な客引き行為の禁止条例を増加する振り込み詐欺等に

問 対する高齢者防犯対策

答 ○落ち葉対策として、市民参加の一斉清掃活動を「杜の都ありがとつキャンぺーン」

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

問 認知症に関する保健介護・医療分野の情報共有

答 ○認知症疾患医療センター等の診療環境の整備と県との連携強化

問 各区への認知症地域支援推進員の配置と専門的な取り組み名称等を工夫し、親しみやすい地域包括支援センターへ

答 ○道路交通法が改正され、自乗車事故は増加傾向にある。自乗車の安全利用やマナー向上のための条例制定が必要ではないか。

問 課題や他都市の条例等を踏まえ外部の意見を聞きながら方策を検討していきたい。

答 ○強引な客引き行為の禁止条例を増加する振り込み詐欺等に

問 対する高齢者防犯対策

答 ○落ち葉対策として、市民参加の一斉清掃活動を「杜の都ありがとつキャンぺーン」

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

問 認知症に関する保健介護・医療分野の情報共有

答 ○認知症疾患医療センター等の診療環境の整備と県との連携強化

問 各区への認知症地域支援推進員の配置と専門的な取り組み名称等を工夫し、親しみやすい地域包括支援センターへ

答 ○道路交通法が改正され、自乗車事故は増加傾向にある。自乗車の安全利用やマナー向上のための条例制定が必要ではないか。

問 課題や他都市の条例等を踏まえ外部の意見を聞きながら方策を検討していきたい。

答 ○強引な客引き行為の禁止条例を増加する振り込み詐欺等に

問 対する高齢者防犯対策

答 ○落ち葉対策として、市民参加の一斉清掃活動を「杜の都ありがとつキャンぺーン」

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

問 認知症に関する保健介護・医療分野の情報共有

答 ○認知症疾患医療センター等の診療環境の整備と県との連携強化

問 各区への認知症地域支援推進員の配置と専門的な取り組み名称等を工夫し、親しみやすい地域包括支援センターへ

答 ○道路交通法が改正され、自乗車事故は増加傾向にある。自乗車の安全利用やマナー向上のための条例制定が必要ではないか。

問 課題や他都市の条例等を踏まえ外部の意見を聞きながら方策を検討していきたい。

答 ○強引な客引き行為の禁止条例を増加する振り込み詐欺等に

問 対する高齢者防犯対策

答 ○落ち葉対策として、市民参加の一斉清掃活動を「杜の都ありがとつキャンぺーン」

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

問 認知症に関する保健介護・医療分野の情報共有

答 ○認知症疾患医療センター等の診療環境の整備と県との連携強化

問 各区への認知症地域支援推進員の配置と専門的な取り組み名称等を工夫し、親しみやすい地域包括支援センターへ

答 ○道路交通法が改正され、自乗車事故は増加傾向にある。自乗車の安全利用やマナー向上のための条例制定が必要ではないか。

問 課題や他都市の条例等を踏まえ外部の意見を聞きながら方策を検討していきたい。

答 ○強引な客引き行為の禁止条例を増加する振り込み詐欺等に

問 対する高齢者防犯対策

答 ○落ち葉対策として、市民参加の一斉清掃活動を「杜の都ありがとつキャンぺーン」

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

問 認知症に関する保健介護・医療分野の情報共有

答 ○認知症疾患医療センター等の診療環境の整備と県との連携強化

問 各区への認知症地域支援推進員の配置と専門的な取り組み名称等を工夫し、親しみやすい地域包括支援センターへ

答 ○道路交通法が改正され、自乗車事故は増加傾向にある。自乗車の安全利用やマナー向上のための条例制定が必要ではないか。

問 課題や他都市の条例等を踏まえ外部の意見を聞きながら方策を検討していきたい。

答 ○強引な客引き行為の禁止条例を増加する振り込み詐欺等に

問 対する高齢者防犯対策

答 ○落ち葉対策として、市民参加の一斉清掃活動を「杜の都ありがとつキャンぺーン」

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

問 認知症に関する保健介護・医療分野の情報共有

答 ○認知症疾患医療センター等の診療環境の整備と県との連携強化

問 各区への認知症地域支援推進員の配置と専門的な取り組み名称等を工夫し、親しみやすい地域包括支援センターへ

答 ○道路交通法が改正され、自乗車事故は増加傾向にある。自乗車の安全利用やマナー向上のための条例制定が必要ではないか。

問 課題や他都市の条例等を踏まえ外部の意見を聞きながら方策を検討していきたい。

答 ○強引な客引き行為の禁止条例を増加する振り込み詐欺等に

問 対する高齢者防犯対策

答 ○落ち葉対策として、市民参加の一斉清掃活動を「杜の都ありがとつキャンぺーン」

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

問 認知症に関する保健介護・医療分野の情報共有

答 ○認知症疾患医療センター等の診療環境の整備と県との連携強化

問 各区への認知症地域支援推進員の配置と専門的な取り組み名称等を工夫し、親しみやすい地域包括支援センターへ

答 ○道路交通法が改正され、自乗車事故は増加傾向にある。自乗車の安全利用やマナー向上のための条例制定が必要ではないか。

問 課題や他都市の条例等を踏まえ外部の意見を聞きながら方策を検討していきたい。

答 ○強引な客引き行為の禁止条例を増加する振り込み詐欺等に

問 対する高齢者防犯対策

答 ○落ち葉対策として、市民参加の一斉清掃活動を「杜の都ありがとつキャンぺーン」

自由民主党

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

市民フォーラム仙台

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

復興仙台

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

日本共産党

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

会派別議案等賛否一覧表

議案等 〔 〕内は議案番号	会派名 ()内は所属議員数										採決結果	
	自由民主党 (12)	市民フォーラム仙台 (9)	復興仙台 (9)	公明党仙台市議団 (8)	日本共産党仙台市議団 (7)	社民党仙台市議団 (5)	みんなの党・みんなの仙台 (4)	自由民主党 (1)	みんなの党・みんなの仙台 (4)	社民党仙台市議団 (5)		日本共産党仙台市議団 (7)
補正予算案 一般会計(第3号)[126] 介護保険事業特別会計(第1号)[127]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例制定案 地域防災計画に定める大規模工場等の用途及び規模を定める条例 [134]、仙台子ども体験プラザ条例[135]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正案 財産条例[128]、発達相談支援センター条例及び精神保健福祉総合センター条例[129]、中央卸売市場業務条例及びと畜場条例[130]、 下水道条例等[131]、水道事業給水条例[132]、乗合自動車運賃条例等 [133]、国民健康保険条例[138]、病院事業使用料及び手数料 条例[143]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員等の旅費に関する条例[136]、障害児通園施設条例[137]、休日 夜間診療所条例[139]、情報・産業プラザ条例[140]、地区計画 の区域内における建築物の制限に関する条例[141]、病院事業の設 置等に関する条例[142]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の締結に関する件[144~155]、工事請負契約の締結 に関する件の一部変更に関する件[156~158]、財産の取得に關 する件[159]、指定管理者の指定に関する件[160・161]、町の区域 を新たに画する件[162]、町の区域の変更に関する件[163]、当せん 金付証券の発売限度額に関する件[164]、市道路線の認定及び廃止 に関する件[165]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦に関する件[166]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提案等 議第6号 空き家等の適正管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員派遣の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対

問 とする予定であり、やり直しは考えていない。

答 ○被災者に対し憲法22条に定める居住の自由の保証を

問 津波被災者の避難行動を検証し、避難計画に生かせ

答 ○子ども・子育て支援新制度においても児童福祉法の理念・原理に基づき、保育を必要とする全ての子どもの保育を保障する責務を果たせ。

問 新制度を活用しながら、子どもの発達段階に応じた支援の充実に努め、一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく支える社会の実現を目指してまいりたい。

問 ひぐちのりこ 議員

答 今こそ平和行政・平和教育が必要。本市の見解を伺う。

問 国際交流や平和に関する

平成26年第1回定例会は2月13日(木)開会の予定です。